














頚椎前方固定手術を受けられる方へ

患者氏名：

様

主治医名：

患者さん用

月日(日時)	手術前日		手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日	手術後3日	手術後4-6日	手術後7日	手術後8-9日	手術後10日	手術後11-13日	退院(手術後14日)
経過(病日等)	手術前日		手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日	手術後3日	手術後4-6日	手術後7日	手術後8-9日	手術後10日	手術後11-13日	退院(手術後14日)
達成目標	必要物品が準備できる 必要時、中止薬や禁煙が守れる 便秘がみられない			麻酔から覚醒する 呼吸が落ち着いている 手術の傷からの出血が多くない 痛みがコントロールできる 安静が守れる	全身状態が安定している 痛みがコントロールできる 誤嚥せず食事ができる 安静が守れる	誤嚥せず食事ができる 手術の傷からの出血が少ない 離床が可能となる		誤嚥せず食事ができる 痛みがコントロールできる	誤嚥せず食事ができる 痛みがコントロールできる 手術の傷が化膿しない			手術の傷が治癒できる	退院について理解できる
薬剤	常用薬を看護師に渡して下さい 中止する薬がある場合は説明します		10時以降の手術の場合、点滴の針を入れ朝から点滴を行います 医師の指示に基づき、必要な方は手術前に内服薬をお渡しします 少量の水で服用して下さい	点滴を行います 抗生剤の点滴を行います 痛み止めの点滴を行います 		抗生剤の点滴を行います 	水分や食事が十分に とれる場合、 点滴の管を抜きます 便秘時には下剤の 検討をします					薬剤師の服薬指導があります	
処置	毎日、検温させていただきます 手術後に履くストッキングの 採寸をします		静脈血栓症予防のための ストッキング着用・下肢運動の 必要性などを説明します	酸素マスクを装着します 手術後の肺塞栓症を予防する ためにストッキングを着用、 足先に機械をつけます 足首の運動も積極的に行って ください	手術の傷からの出血が多い 場合はガーゼを交換します ストッキングを着用し 足先に機械をつけます 足首の運動も積極的に行っ てください	必要時ガーゼを交換します ストッキングを24時間着用 していただきます リハビリができれば足先の 機械を外します 足首の運動は積極的に行っ てください		ストッキングを24時間着用して いただきます 足首の運動は積極的に行っ てください		リハビリが進めば ストッキングを脱げます 必要時、抜糸を行います		創を確認し ガーゼを外します 	
検査				手術後、手術室でレントゲン検査 を行います	血液検査を行います			血液検査を行います	レントゲン検査、 血液検査を 行います		血液検査を行います		レントゲン検査、 血液検査を 行います
リハビリ 安静度	制限はありません		手術室まで寝た状態でお送りします 病室でお待ちください	手術後は首を誤って動かして しまわないよう首の位置を 固定します 体の向きを変えたいときは 看護師を呼んでください	当面の間は頚椎固定用の カラーを着用します ベッドで頭部を90度まで 挙上できます 	頸部の管を抜いた後は ベッドから足を降ろして座る ことが可能です トイレまで歩行器で歩いて いただけます ※リハビリの評価で 安静度は変わります	車椅子による移動、 または歩行器による 歩行を目標とします ※リハビリの評価で 安静度は変わります	病棟内であれば歩行器で 歩いていただけます ※術前の神経症状や術後の 全身状態により時期が 変わります	歩行器を使用せず歩行が 可能となります ※リハビリの評価で 安静度は変わります				
食事	絶飲食の説明をします		 飲んだり食べたりできません	担当医の許可があれば 食事をとっていただきます はじめは流動食を提供します		誤嚥せず食事が とれていれば 五分粥に変わります	誤嚥せず食事がとれてい れば七分粥に変わります	誤嚥せず食事がとれてい れば全粥に変わります					
清潔	シャワーをしていただきます 男性の方はヒゲを剃っていただき ます		手術前にシャワーをしていただき ます		身体拭きと着替えを行います 皮膚の状態を観察します	適宜、お身体を拭いたりドライ シャンプーや足浴を行います 毎日皮膚の状態を観察します						抜糸がある場合は抜糸翌日より シャワーができます シャワー時も頚椎カラーを装着し 模倣後に入ります	退院1ヶ月後から 入浴が可能と なります
排泄			手術予定時間の30分前には 排泄をお済ませください	ベッド上での排泄となります 排尿用の管が入っています		頸部の管を抜いた後、状態に 応じて排尿用の管を抜きます (術前の神経症状や術後の全身 状態により時期が早まったり 遅くなる場合があります) 可能であれば歩行器にて トイレに行きます							
教育・説明	看護師から入院経過に関する 説明があります 麻酔科医師・手術室看護師の 訪問があります 手術・麻酔・輸血の同意書を 看護師に渡して下さい		入れ歯、指輪、ネックレス、ピアス、 眼鏡、コンタクトレンズ、ヘアピンなど 金属類は外しておいて下さい 化粧、マニキュアを落として下さい	手術後、担当医から手術に関する 説明があります 								退院後の生活について 説明します (正しい姿勢や カラーについて)	経過が良いようなら 退院を含めて今後 の相談を行います

三菱京都病院 整形外科 2022. 10. 作成
2023. 4. 改訂

【入院時の持ち物】

手術に必要な書類(手術承諾書、麻酔同意書、輸血同意書)、お薬手帳と普段飲んでいるお薬、ストロー、
手持ちがあれば吸いのみ、はき慣れた運動靴、普段使用があれば杖、頚椎カラー、頚椎カラーのクッション2つ
レンタルセットに含まれない方のみ→ 和式の浴衣2枚、前開きパジャマ数着、バスタオル2~3枚、フェイスタオル6~7枚、
ペースメーカー手帳(ペースメーカーを植え込まれているかたのみ)

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを
進めていくに従って変更されることがあります。
注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

年 月 日
本人または代諾者名()